

## ヒヤリ・ハット事例報告

6/8(土)に実施した提案山行「西丹沢檜洞丸」において、頂上から犬越路に向けて下山中、男性メンバが木の根に左足をひっかけて、バランスを崩して転倒。1回転しながら、灌木の間を通り抜け、約3m下の灌木に引っかかって停止。すぐにパーティメンバに救助され事なきを得た。幸い怪我は、右脚内腿と左手小指の打撲のみの軽傷で済み、そのまま自力下山した。たまたま張り出していた1本の灌木に助けられなかったら、急峻な崖上から滑落し、大事故になっていた可能性があった。一瞬ヒヤリとさせられたが、大事故にならず、本当にラッキーであった。

今回のアクシデントは、ツツジ新道の急登を約3.5時間凌いで檜洞丸頂上に登り着いて、昼食を摂ったのち、下山にかかって約1時間後の午後2時10分頃発生した。過去の山岳遭難事故事例で、滑転落が最も多く発生しているのは、下山中の午後2時ごろで、「魔の午後2時」とも呼ばれている。滑転落事故の大部分は、脚に負担がかかる下山中に発生する。しかも、脚や脳に疲労が始め、昼食後で、緊張感が緩んで、注意力が散漫になりやすい午後2時頃の「魔の時間帯」に集中して発生しやすい。今回の事例は、まさにこの典型例といえよう。

これから夏のビック山行シーズンが開幕しますが、そこでもっともって体力を消耗する厳しい場面に遭遇します。どんな場合でも、絶対事故は起こさないという強い信念のもと、行動中は常に緊張感を維持し、安全登山最優先で行動しよう！

## 山行実施結果報告

### ★西伊豆長九郎山(定例)★★

6/1(土)日帰、マイクロバス利用。参加13名。天候:晴後曇。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。シクガは咲き終わっていた。大沢温泉入浴。

### ☆六義園・旧古河邸ウォーキング(ゆ)☆

6/3(月)日帰、公共交通利用、参加8名、天候:晴。CL、SL/計画:、救護:スタッフ名削除。六義園のササが見事。旧古河邸苑のバラは盛りを過ぎていた。ガド付きで旧古河邸見学。

### ☆西丹沢檜洞丸(提案)★★

6/8(土)日帰、公共機関利用。参加9名、天候:曇時々晴。CL/計画:、SL。会計:、救護:スタッフ名削除。シヤシヤは終わっていた。下山中に滑落のアクシデント発生。詳細は本号トップ記事と「ヒヤリ・ハット報告書」に記載。

## 至近の山行予定

### ◇鹿沼岩山(提案)★★

6/22(土)日帰、ハイース利用。申込:12名。CL/計画:、SL、会計、救護:スタッフ名削除。岩稜縦走。要ハース。

### ◇駒止湿原・高清水・帝釈山・田代山(ゆ)★★

6/23(日)-24(月)1泊2日、ハイース利用。申込:13名。CL/計画:、SL、会計:、救護:スタッフ名削除。CLの都合により中止。

### ◇奥秩父大弛峠・金峰山(提案)

★★7/6(土)日帰、マフ3台利用。申込13名。CL/計画:。SL、会計:、救護:、マフ提供:スタッフ名削除。

### ◇上越国境蓬峠(提案)★★

7/6(土)-7(日)1泊2日、公共交通利用。申込:6名。CL、SL、会計/計画:、救護:スタッフ名削除。新緑を求めて古の峠越え。

## 山の花、野の花

### ヒメサユリ【姫小百合】(ユリ科 ユリ属の宿根草) 正式名:オハユリ



ヒメサユリの花 (2007.6.30 守門岳)



最大の自生地 福島県南会津郡南郷の高清水自然公園

日本特産のユリで、宮城県南部、及び新潟・福島・山形県境に接する飯豊連峰、吾妻連峰、守門岳、浅草岳等の豪雪帯の標高1500m以上の深山にのみ群生している貴重な花。環境省のレッドリストでは準絶滅危惧種、国際自然保護連合のレッドリストでは絶滅危惧種に指定されている。高さ30-50cm、鱗茎は卵形で、葉は広披針形。花期は6-8月で、薄いピンク色の筒型の花を横向きに咲かせる。花径5-6cm、長さ8cm。ヤマユリほど香りは強くないが甘く濃厚な香りがする。よく似た花にサユリがあるが、ヒメサユリは雄蕊の先端が黄色いので区別できる。実生から花が咲くまで最低4年かかる。

最近、南会津町南郷地区の高清水自然公園のヒメサユリ自生地が知られるようになった。標高850mの7haの草原に100万株のヒメサユリが咲く日本最大の群生地である。今年のヒメサユリ祭りは6/23。折角見頃の時期にゆった〜り山行として計画されたが、実施寸前に中止に。来年は必ず実施します。

### ◆根子岳・四阿山(定例)★★

7/13(土)-14(日)1泊2日。ハイバス利用。申込10名。CL/計画:、SL、会計:、救護: スタッフ名削除。

百名山登山。

### ◇北ア常念岳・蝶ヶ岳(提案)★

★☆7/27(土)-29(月)2泊3日。ハイバス/公共交通利用。申込4名。CL/計画:、SL、会計:、救護: スタッフ名削除。

### ◇利尻岳・礼文岳(提案)★★★

7/28(日)-7/31(水)3泊4日、航空機利用。申込8名。CL/計画:、SL、会計:、救護: スタッフ名削除。

### ◇南ア塩見岳・農鳥岳(提案)

★★★8/10(土)-13(火)3泊4日、公共交通利用、申込4名。CL/計画:、SL、会計:、救護: スタッフ名削除。

### ◇北ア槍ヶ岳・大礼峠・北穂高岳(提案)★★★★

8/10(土)-13(火)3泊4日。ハイバス利用。申込6名。CL/計画:、SL、会計:、救護:、ハイバス提供: スタッフ名削除。

### ◆北ア乗鞍岳(定例)★★

8/24(土)-25(日)1泊2日。ハイバス利用。申込13名。CL/計画:、SL、会計:、救護: スタッフ名削除。

### ◇根名草山と3名湯巡り(ゆ)

★★8/30(金)-9/2(月)3泊4日。ホテル送迎バス利用。申込5名。計画: スタッフ名削除。申込者僅少につき中止。

## 7月募集山行

### ◇西丹沢高松山はなじよろ街道(提案)★

☆9/14(土)日帰、公共利用。計画: スタッフ名削除。

### ◇南ア北岳・間ノ岳・農鳥岳(提案)★★★

★9/21(土)-23(祭)夜行2泊3日、公共交通利用。計画: 削除。往路夜行バス利用。

### ◇中ア空木岳・木曾駒ヶ岳(提案)★★★★

9/21(土)-23(祭)2泊3日。テント泊・ハイバス利用。計画: スタッフ名削除。標高差2000m池山尾根を登る。かなり健脚向。

◆岩殿山(定例)★☆9/28(土)日帰、公共交通利用。計画: スタッフ名削除。

### ◇塩原溪谷・自然探究路(ゆ)★

☆10/26(土)-27(日)1泊2日。ハイバス利用。計画: スタッフ名削除。温泉と紅葉を楽しむ。

### ◇屋久島宮之浦岳・永田岳・白

### 谷雲水峡(提案)★★★

10/27(日)-30(水)3泊4日。ハイバス/航空機/タクシー/レンタカー利用。無人小屋2泊/民宿1泊。スタッフ名削除。

## 山に想う

### 二男との登山

#086 氏名削除

15年間に3回、二男と山歩きの回数です。最初は大山、中二と私、私桜も満開を過ぎた年頃、山もはじめて頃で、子供と歩けたらいいなと思いを掛けたら、「なんでオッカーと一緒になんだよ意味わかんねえ」と言われた。しつこく言う私に負けたのか、「しょうがねえな、今回だけだぞ、高いからな」と賃金要求あり。でも一緒に歩けるならと了解する。

当日は曇り、大山バス停のすぐ上へ駐車し、登山開始。この頃の二男は親と話すのが面倒なのか、ウザイのか、余計なことは話さず、男子は皆こうらしい。登山中、私が山のうんちくを言うと、「ホラ出ました。オカンの知ったかぶり」と。子供に負けたくないので、早歩きなどすると、「オイおばあさん、無理すんなよ」と、優しいんだか、バカにされているのか。でも心はウキウキ2人で歩くなんて久しぶり。山頂での眺め悪く、早々に見晴らし台へ向かい下山。二男は楽しくないのか、オカンと歩くのが靴がずかしいのか、始終楽しくない顔をしていたが、きっちり賃金取られました。

私には滅多にない最高日となった大山登山から7年が過ぎ、二男21歳、私桜の花びらも散り、青葉っぱの頃、又歩けるといいなと思ひ、お願いし、最後は涙ポロポロ、オカンの涙ごめんです二男は、「しょうがねえな一行ってやるか、この幸せものが」とはじまる。

場所は私が好きなズミの花咲く入笠山。日を決めて、晴れなら決行。中央道に入り、諏訪南で降り、沢入駐車場より登山開始。13歳の時とはえらい違いで、途中でストックを使う始末。もつともなことで、休日は一日寝ていて身体を動かさず、グータラ生活。その頃の私は場数を踏んでいて、ちよとのことではまこたれない。今回はオカンの勝ち。途中休んでいると、年配者のツアーが目の前を元気に歩く姿に、「なんだよーあのじいさんばあさんか」と大声。平地でノロノロ歩く年配の人ばかり見ているから、パワーに驚いたのでした。そこで一喝「年寄りなめたらあかんぜよー」と。山頂から

の眺め最高。以前、川上村で農家のアルバイトをしていたことがあり、懐かしく思い出していたのかも。1時間ほどで下山開始。暑い日で汗ビショリ。21歳ともなると車の中や登山中でも、互いによく話し、少しは大人になったんですかね。向き合うこともでき、自然は人を素直にしてくれるし、二男に感謝。山にも感謝。

入笠山から6年過ぎ、3回目。二男27歳。私青葉も過ぎ紅葉の頃。今は秋田に住み、一度だけ帰ってくる。一度鳥海山に登り、朝から雨で途中で引き返してきたのを思い出し、お願いの電話をすると、その場でOK。またまた出ました、「この幸せの者が、孝行息子に感謝しろ」ときた。休みが決まり、2泊3日で秋田に出かける。1日目は二男休まず、一人で獅子ヶ鼻温泉を散策する。

2日目晴れ。早朝に鉢立ビジターセンターに駐車して登山開始。一応鳥海湖を目標とし、今は時間があればジョギングをしているとのこと。2人分の荷物を背負ってくれ、私手ぶらで楽ちん。前回とえらい違いである。ただ二男の靴が気になるが、整備された石畳で歩きやすい。途中お花畑あり、優しい流れの小川もあり、ウキウキのんびりと観察しながら歩く。今回は話すより、植物が目が行き、それどころではない。御兵小屋に着き、小屋の人と少し話してから、鳥海湖一望できる場所へと向かい、昼食とする。ブルーライトの名の通り、湖まきれいなコンシトブルー、その周囲はお花畑。前は雨で何も見えず、今回は全部最高。満喫したところで、上に行くか話し合うが、靴の状態が悪いので、少し先で行って戻ることにする。小屋の人に、「あれ帰るの、行かないの」と声かけられ、「文殊岳でも行って来れば」と、が戻ることにする。楽しみながらゆっくり下山する。息子の言う通り、「この幸せ者が」としみじみ思います。ありがとうね。毎回感じますが、自然は人を癒し、自分を素直にしてくれます。夜は秋田最高のご馳走をあげました。回転寿司4回目はあるのか、そろそろお願いしてみようかな。次の歳身何か楽しみでもあります。今回は氏名削除さんの登場です。

### 7月例会: 7/20(土)、厚木市睦合西公民館 1F 工作室

- ・安全登山教室 18:30-19:30
- ・例会 19:30-21:00
- ・世話人会 17:00-18:30